

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	膵癌 FOLFIRINOX療法 (infuser pump)
疾患名	膵臓癌
診療科名	消化器内科
登録医師名	表 静馬

臨床区分

日常診療

単施設自主研究

他施設自主研究

市販後臨床研究

治験

抗癌剤適応分類

進行・再発化学療法

術後化学療法

術前化学療法

局所療法

その他

登録日	2014年3月20日
1クール期間	14日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日														注意コメント
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	Na ⁺ リナ0.75g用100単位/mL注射液 10mL	1	本	静注			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
2	アプレビタントカプセル125mg	1	Cap	経口			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	抗がん剤投与1時間~1時間30分前に内服		
3	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること		
4	生理食塩液 パロノセトロン静注0.75mg デキササート注射液 6.6mg	100 1 1.5	mL 瓶 瓶	点滴静注	メイン	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
5	5%糖液 オキサリプラチン点滴静注液	250 85	mL mg/m ²	点滴静注	メイン	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
6	5%糖液 レボホリナート点滴静注用	250 200	mL mg/m ²	点滴静注	メイン	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナート投与開始30分後からイリノテカン同時投与開始		
7	5%糖液 イリノテカン塩酸塩点滴静注液	250 180	mL mg/m ²	点滴静注	側管	90min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナート投与開始30分後から同時投与開始		
8	フルオロウラシル点滴静注 生理食塩液	400 50	mg/m ² mL	点滴静注	メイン	全開で	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとイリノテカン終了後15分以内で投与終了		
9	フルオロウラシル点滴静注 生理食塩液	2400 50	mg/m ² mL	持続点滴	メイン	46h	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	インフューザーポンプ 全量110mLに調製する。		
10	Na ⁺ リナ0.75g用100単位/mL注射液 10mL	1	本	静注			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
11																					

備考欄

2~3日目 アプレビタントカプセル80mg 1日1回 1回1Cap 内服
2~4日目 デカドロン錠4mgmg 1日1回 1回1錠 内服

文献

FOLFIRINOX versus Gemcitabina for Metastatic Pancreatic Cancer
FOLFIRINOX療法（治療切除不能な膵癌）適正使用情報

減量・中止基準

好中球数 \geq 1,500/mm³
血小板数 \geq 75,000/mm³
発熱性好中球減少、好中球数500未満が7日以上→優先的にイリノテカンを優先的に減量、5-FU急速静注は中止
血小板数50,000未満→オキサリプラチンを優先的に減量、5-FU急速静注は中止
総ビリルビン2~3mg/dL→CPT-11 120mg/m²、3mg/dLを超える場合は90mg/m²へ減量

減量時の投与量

L-OHP：85mg/m²→65mg/m²→50mg/m²→中止
CPT-11：180mg/m²→150mg/m²→120mg/m²→中止
5-FU急速静注：400mg/m²→中止
5-FU持続静注：2400mg/m²→1800mg/m²→1200mg/m²→中止

参照：がん化学療法レジメンハンドブック7版 p665-666 FOLFIRINOXの項